

Iwatani

**2019年3月期
決算説明会**

2019年5月23日

岩谷産業株式会社

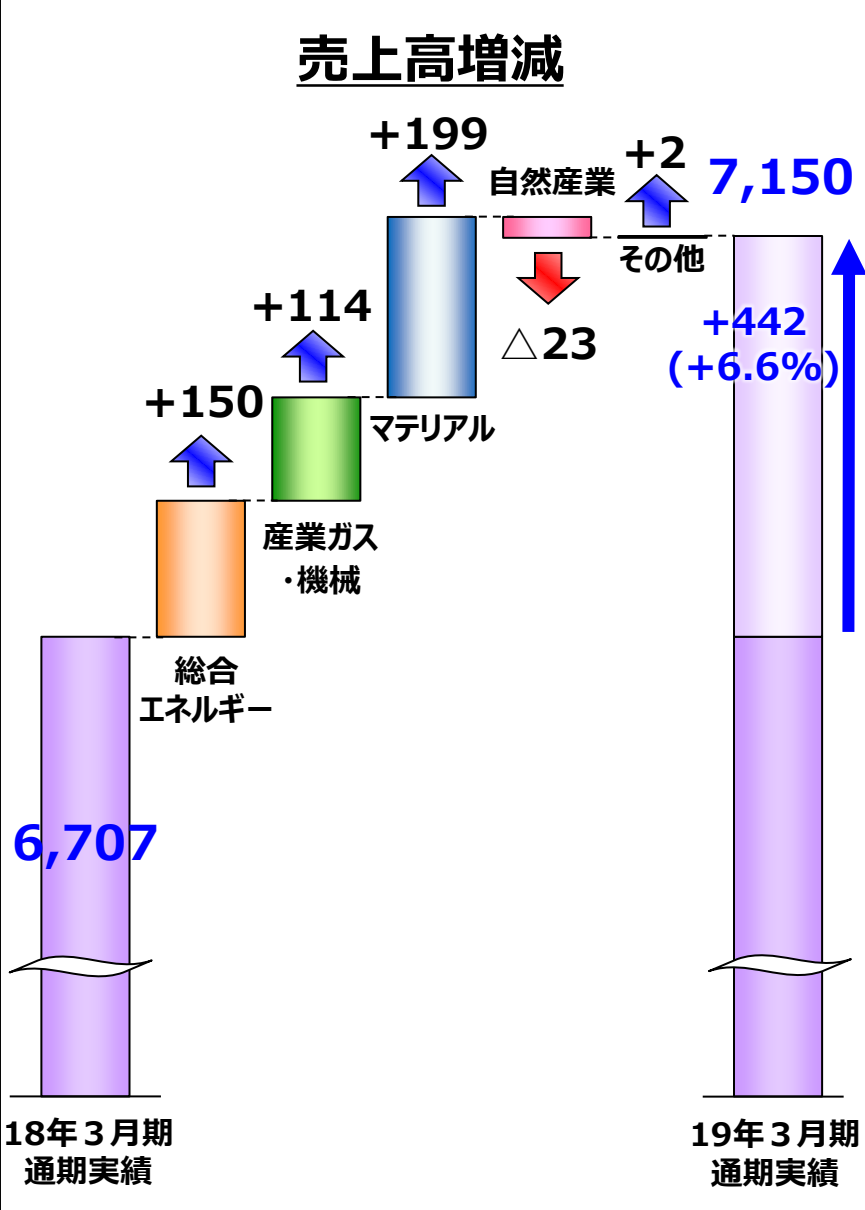
- 2019年3月期 決算概況
- 2020年3月期 通期業績予想
- PLAN20の進捗について
- 事業トピックについて

2019年3月期 決算概況

増収の要因分析

(単位：億円)

	2019年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	前年差 (増減額)	2019年 3月期 通期予想
売上高	7,150	6,707	+442	7,350
売上 総利益	1,706	1,680	+25	-
営業利益	264	271	△7	284
営業外損益	34	22	+12	16
経常利益	299	294	+5	300
親会社株主に 帰属する 当期純利益	192	175	+16	180



前提

①卸売価格は
L P ガス輸入価格に連動

②輸入～販売の期間は約 3 ヶ月

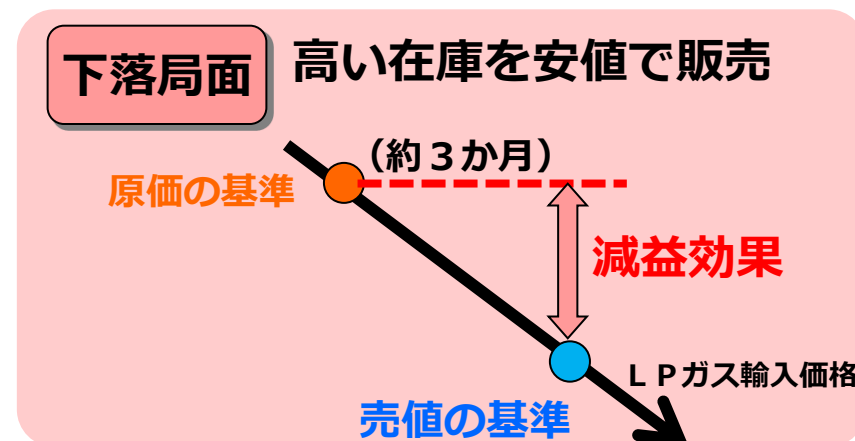
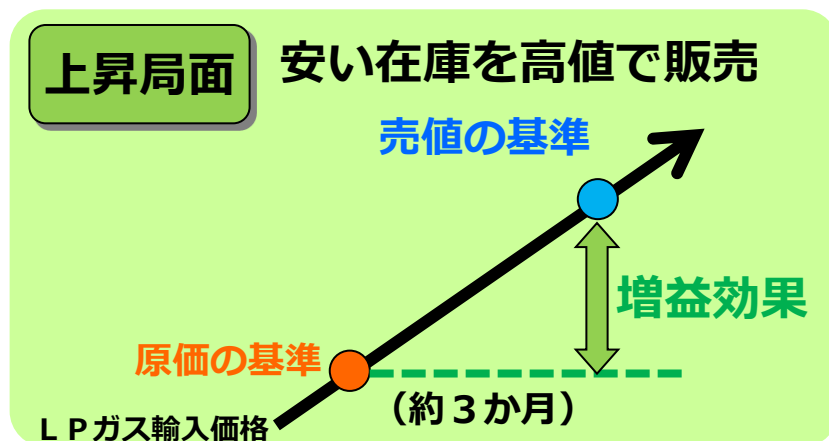
卸売価格 $\propto$ L P ガス輸入価格
(中東玉 (C P) と米国玉 (M B) で構成)



L P ガス輸入
価格が変動

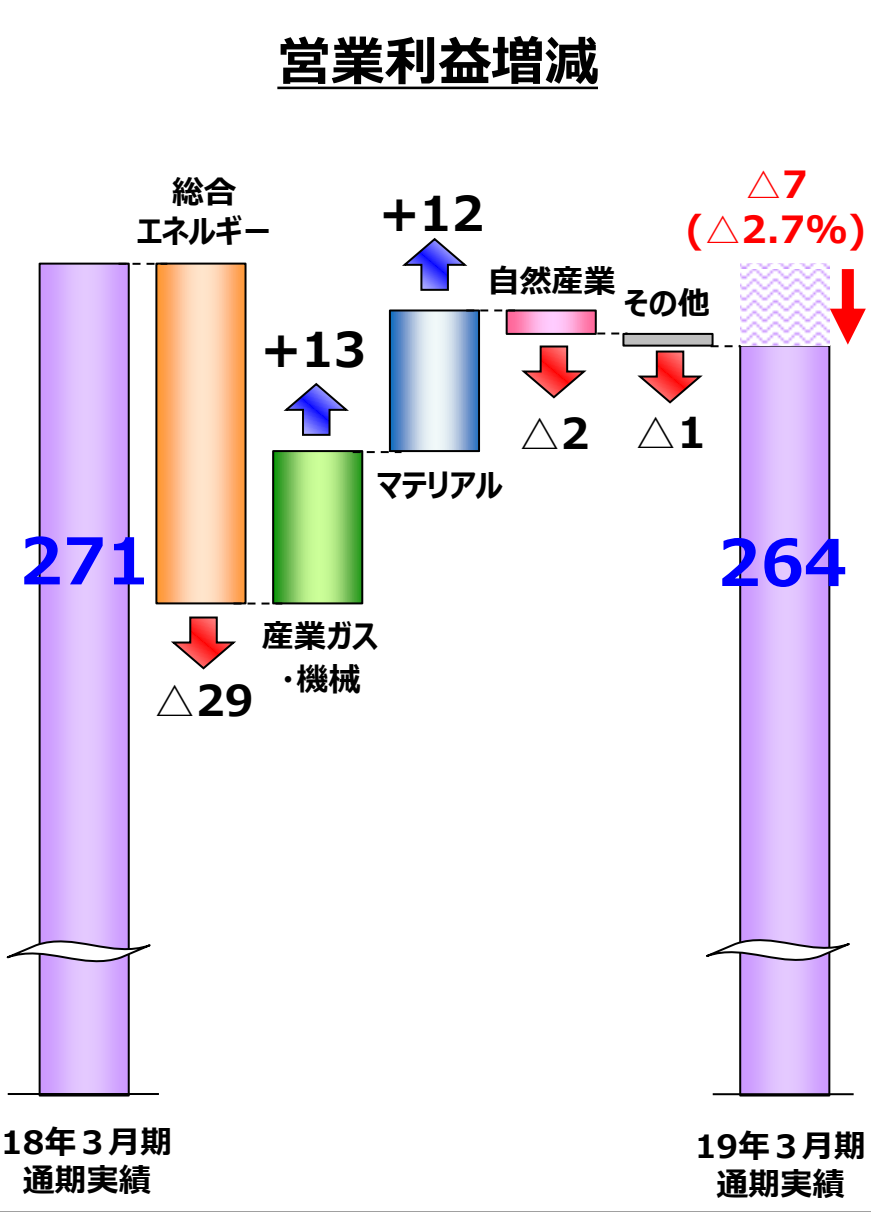
短期的に業績に影響が生じる（市況要因の発生）

（L P ガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ）※



※在庫量・販売時期・販売数量等によって実際の業績への影響は変動します

	2019年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	前年差 (増減額)	2019年 3月期 通期予想
売上高	7,150	6,707	+442	7,350
売上 総利益	1,706	1,680	+25	-
営業利益	264	271	△7	284
営業外損益	34	22	+12	16
経常利益	299	294	+5	300
親会社株主に 帰属する 当期純利益	192	175	+16	180



民生用LPガス

13,815

市況要因
による減益

約33億円

約1億円

小売部門の
収益性改善

気温上昇による
卸売部門の
販売数量減少

約6億円

約4億円

工業用LPGの
販売増加

・カセットこんろ・ボンベ
の販売増加 (+5億円)

約5億円

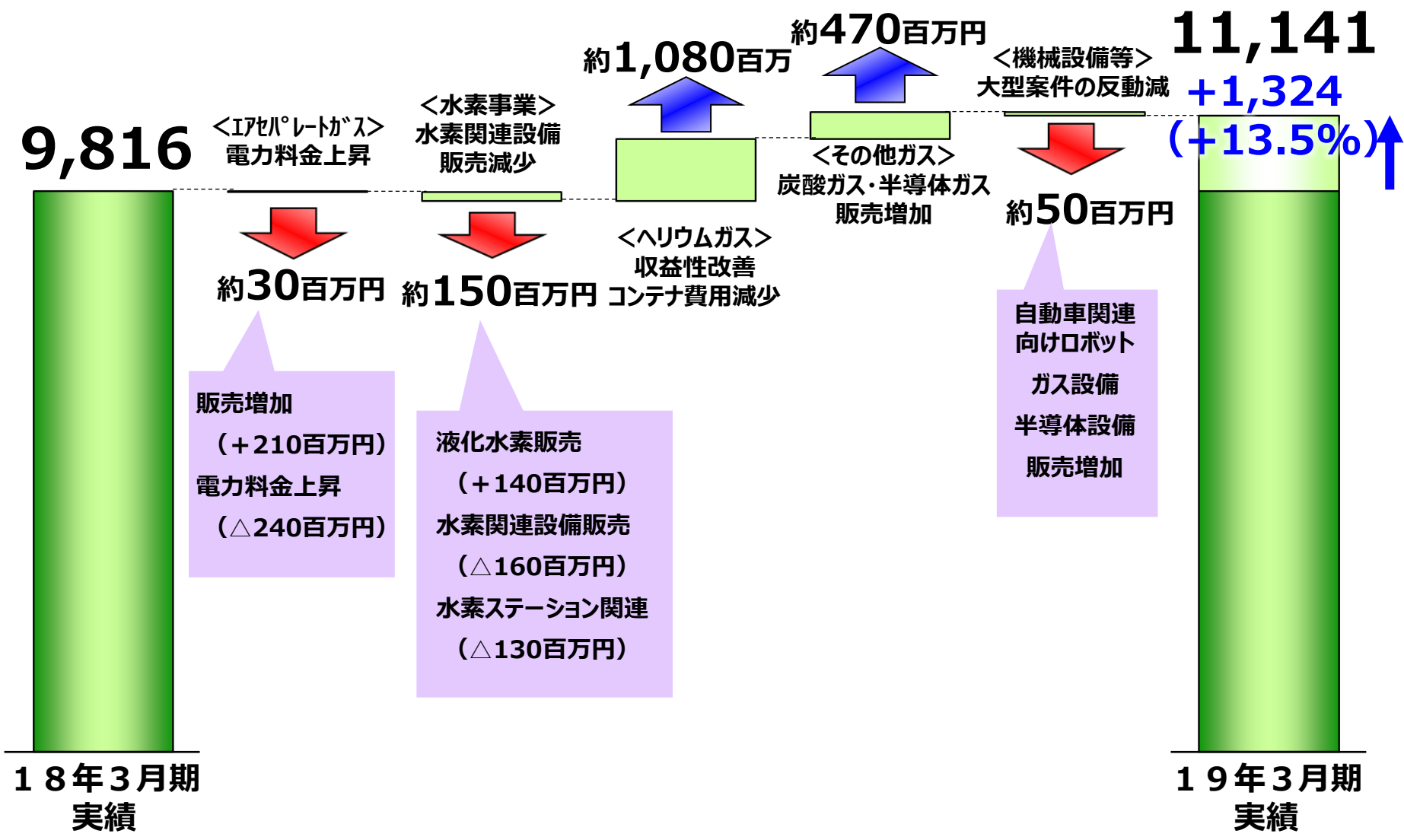
その他

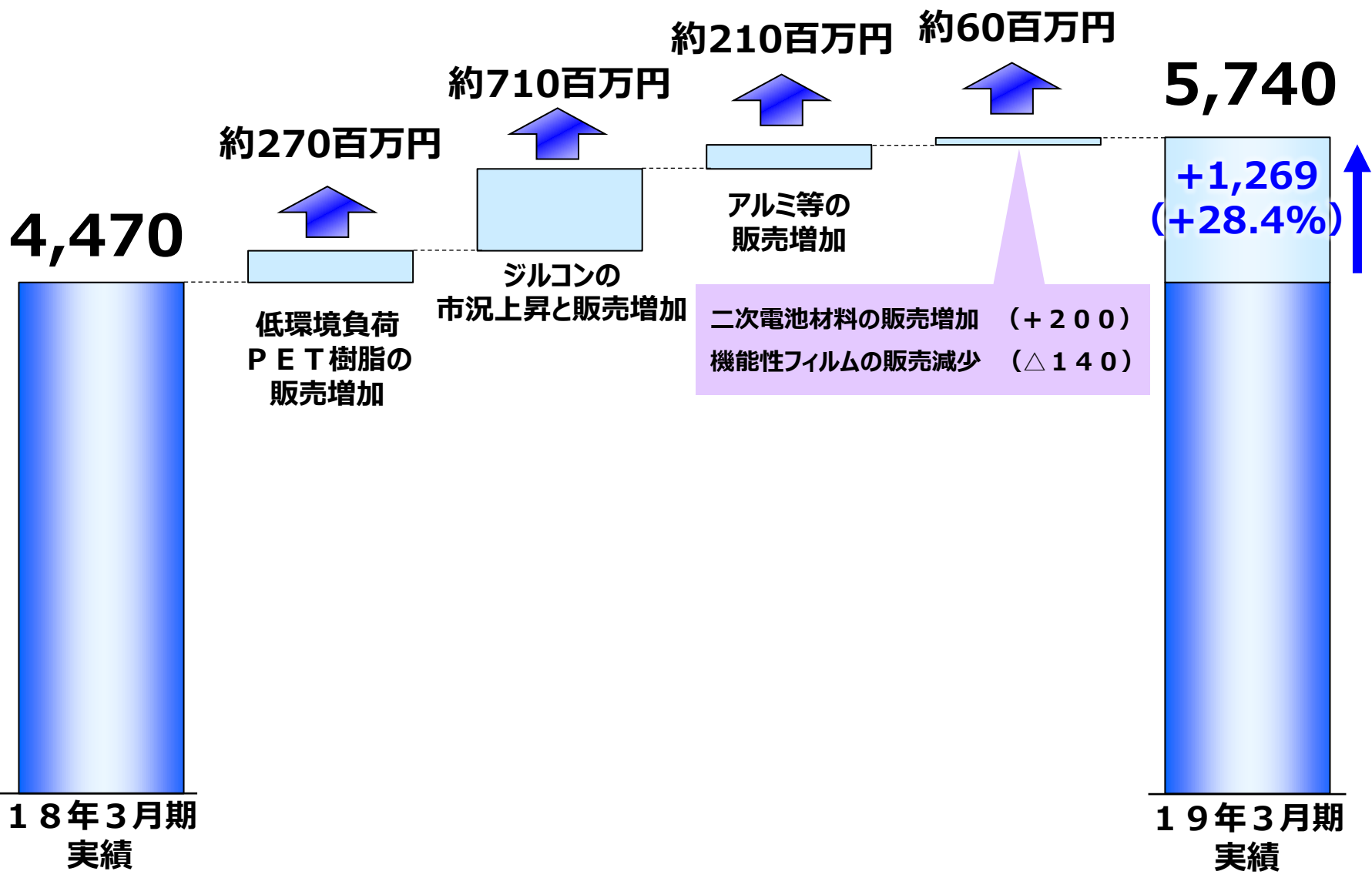
10,871

△2,943
(△21.3%)

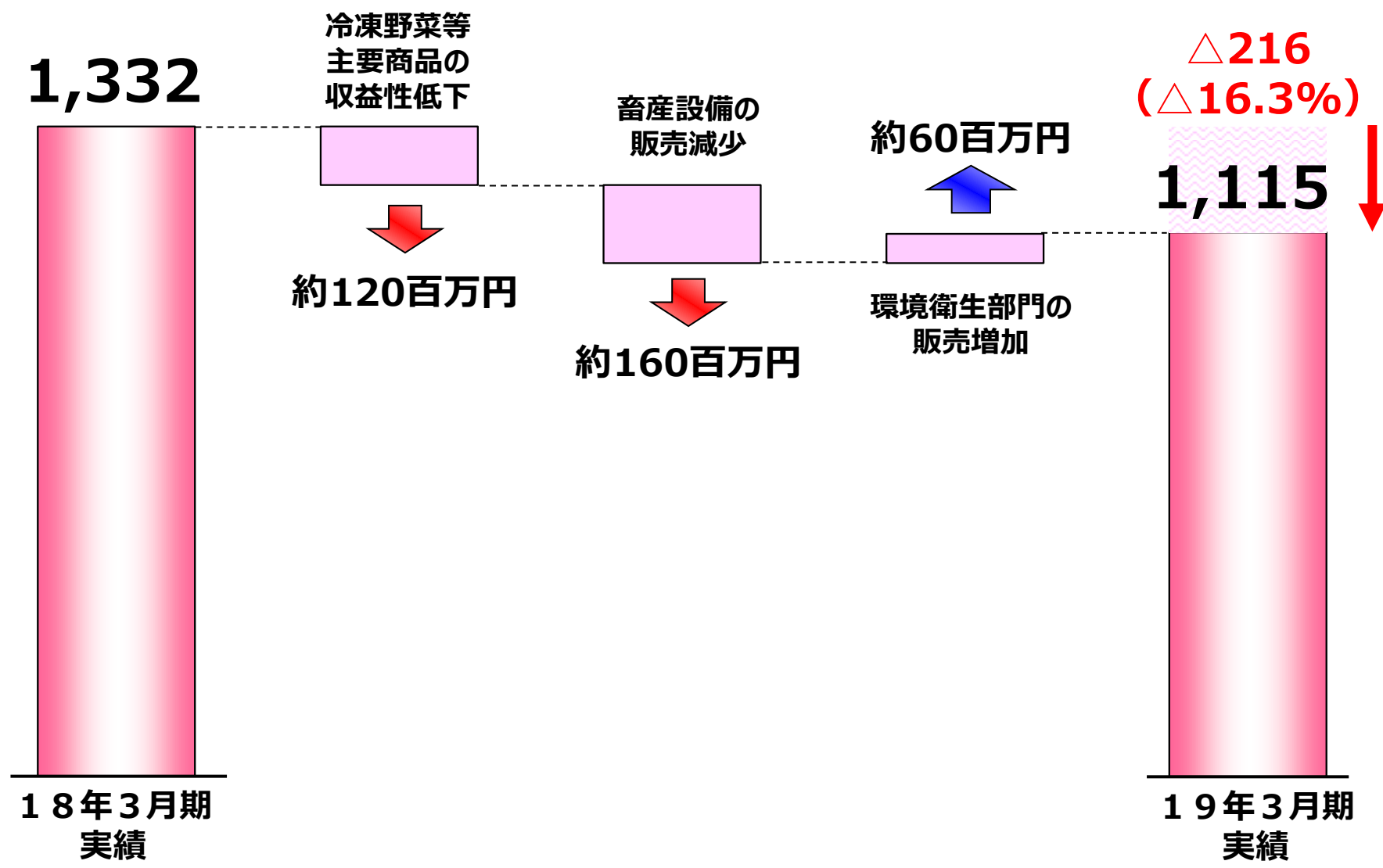
18年3月期
実績

19年3月期
実績





自然産業事業 営業利益増減分析



貸借対照表（連結）

	2019年 3月末	2018年 3月末	前年差 増減額	主な増減理由
流動資産	1,978	1,912	+66	現預金の増加とL P ガス輸入価格が前期と比べ高かったことによる棚卸資産の増加
有形固定資産	1,644	1,602	+41	ヘリウムセンター建設などへの投資
無形固定資産	177	176	+0	
投資その他の資産	775	844	△68	保有株式の時価下落による投資有価証券の減少
固定資産	2,597	2,623	△25	
総資産	4,576	4,535	+40	
流動負債	1,727	1,785	△57	L P ガス輸入価格が前期と比べ高かったことにより仕入債務が増加も、短期借入金が減少
固定負債	1,108	1,090	+17	長期借入金の増加
負債	2,836	2,876	△40	
自己資本	1,654	1,544	+110	(自己資本比率 36.1%)
非支配株主持分	85	114	△29	
純資産	1,739	1,659	+80	
負債・純資産	4,576	4,535	+40	

(単位：億円)

	2019年3月期 実績	2018年3月期 実績	前年差 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	391	285	+106
投資キャッシュ・フロー	△236	△264	+27
フリー・キャッシュ・フロー	154	20	+133
財務キャッシュ・フロー	△136	△63	△72
換算差額等 ※1	△0	8	△8
現預金等の増減額 ※2	17	△34	+51
現預金等の期首残高	177	212	△34
現預金等の期末残高	195	177	+17

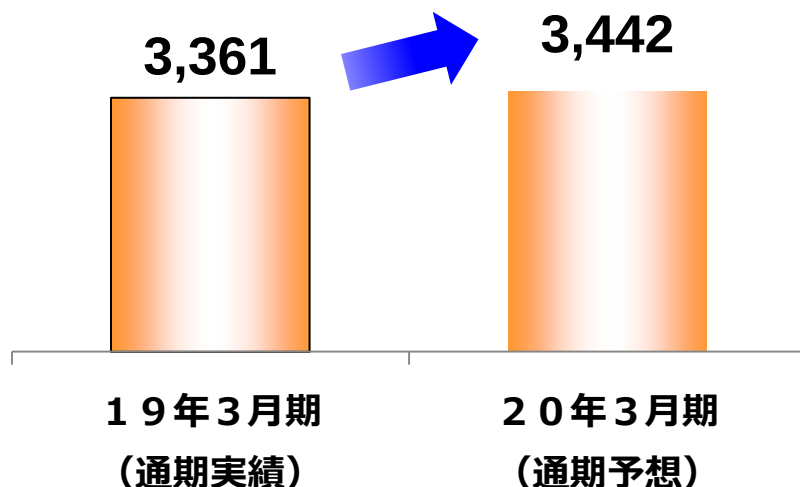
※1 「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連結子会社との合併に伴う増加額」の合計を表示しております。

※2 「現預金等の期首残高」と「現預金等の期末残高」の差額を表示しております。

2020年3月期 通期業績予想

売上高

(億円)

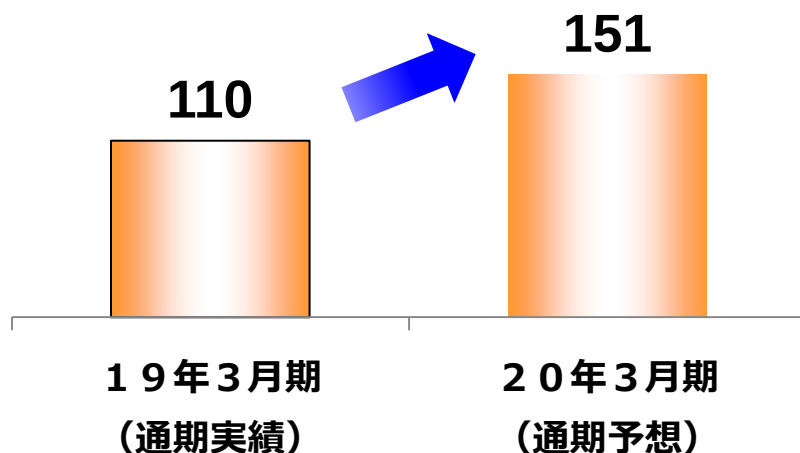


通期業績予想の達成に向けて

- ・前年度発生した市況要因の解消 【+】
- ・L P ガスの拡販 【+】
- ・ガス機器・生活商材の拡販 【+】
- ・カートリッジガス商品の拡販 【+】

営業利益

(億円)



業績が変動するリスク要因

- ◇ L P ガス輸入価格、為替の動向
- ◇ 気温変動による販売数量への影響

産業ガス・機械事業の見通し

売上高

(億円)

1,881



1,970

19年3月期
(通期実績)

20年3月期
(通期予想)

通期業績予想の達成に向けて

- ・ヘリウムの拡販及び収益改善 【+】
- ・各種産業ガス、機械設備等の拡販 【+】
- ・水素ステーション整備に伴うコスト増加【-】

営業利益

(億円)

112



113

19年3月期
(通期実績)

20年3月期
(通期予想)

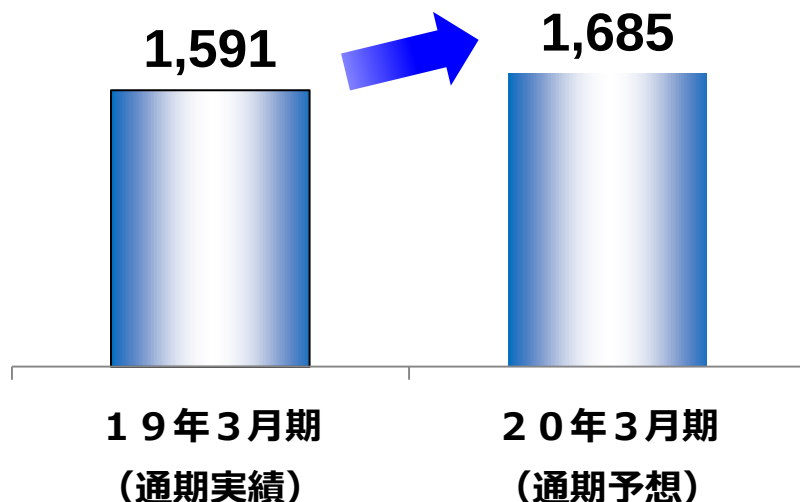
業績が変動するリスク要因

- ◇電力料金上昇による製造コストへの影響
- ◇国内外の景気低迷
- ◇為替変動

マテリアル事業の見通し

売上高

(億円)

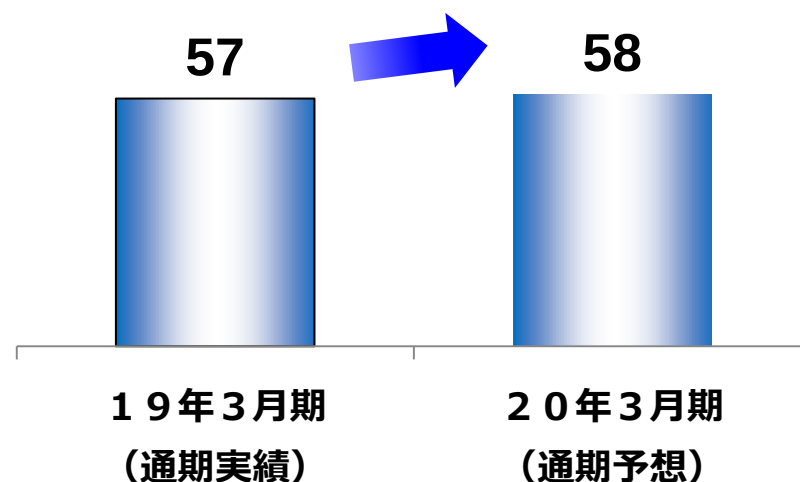


通期業績予想の達成に向けて

- ・PET樹脂原料の販売増加 【+】
- ・バイオマス事業の拡大 【+】
- ・二次電池材料の拡販 【+】
- ・ステンレス、アルミ等の拡販 【+】
- ・チタン・ジルコンの市況価格停滞 【-】

営業利益

(億円)



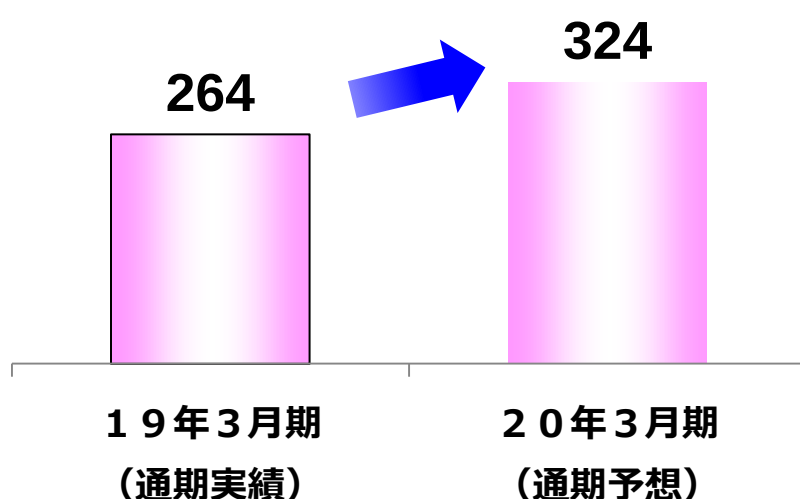
業績が変動するリスク要因

- ◇顧客企業の工場稼働率の低下
- ◇資源市況の変動
- ◇為替変動

自然産業事業の見通し

売上高

(億円)

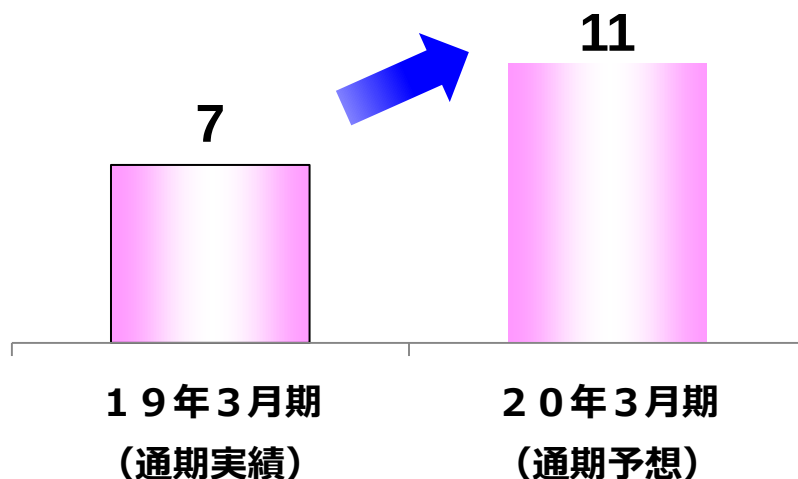


通期業績予想の達成に向けて

- ・冷凍食品の拡販 【+】
- ・種豚の拡販 【+】
- ・農業・畜産設備の拡販 【+】

営業利益

(億円)



業績が変動するリスク要因

- ◇為替変動
- ◇原材料価格変動
- ◇天候不順

2020年3月期 通期業績予想

Iwatani

(単位：億円)

	2020年3月期 業績予想	2019年3月期 実績	前年差 (増減額)	前年比 (%)
売上高	7,473	7,150	+322	+4.5%
総合エネルギー事業	3,442	3,361	+80	+2.4%
産業ガス・機械事業	1,970	1,881	+88	+4.7%
マテリアル事業	1,685	1,591	+93	+5.9%
自然産業事業	324	264	+59	+22.5%
その他	52	52	+0	△1.0%
営業利益	305	264	+40	+15.3%
総合エネルギー事業	151	110	+40	+36.5%
産業ガス・機械事業	113	112	+0	+0.3%
マテリアル事業	58	57	+0	+1.0%
自然産業事業	11	7	+3	+38.5%
その他・調整額	△ 28	△ 24	△ 3	—
経常利益	330	299	+30	+10.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	205	192	+12	+6.7%

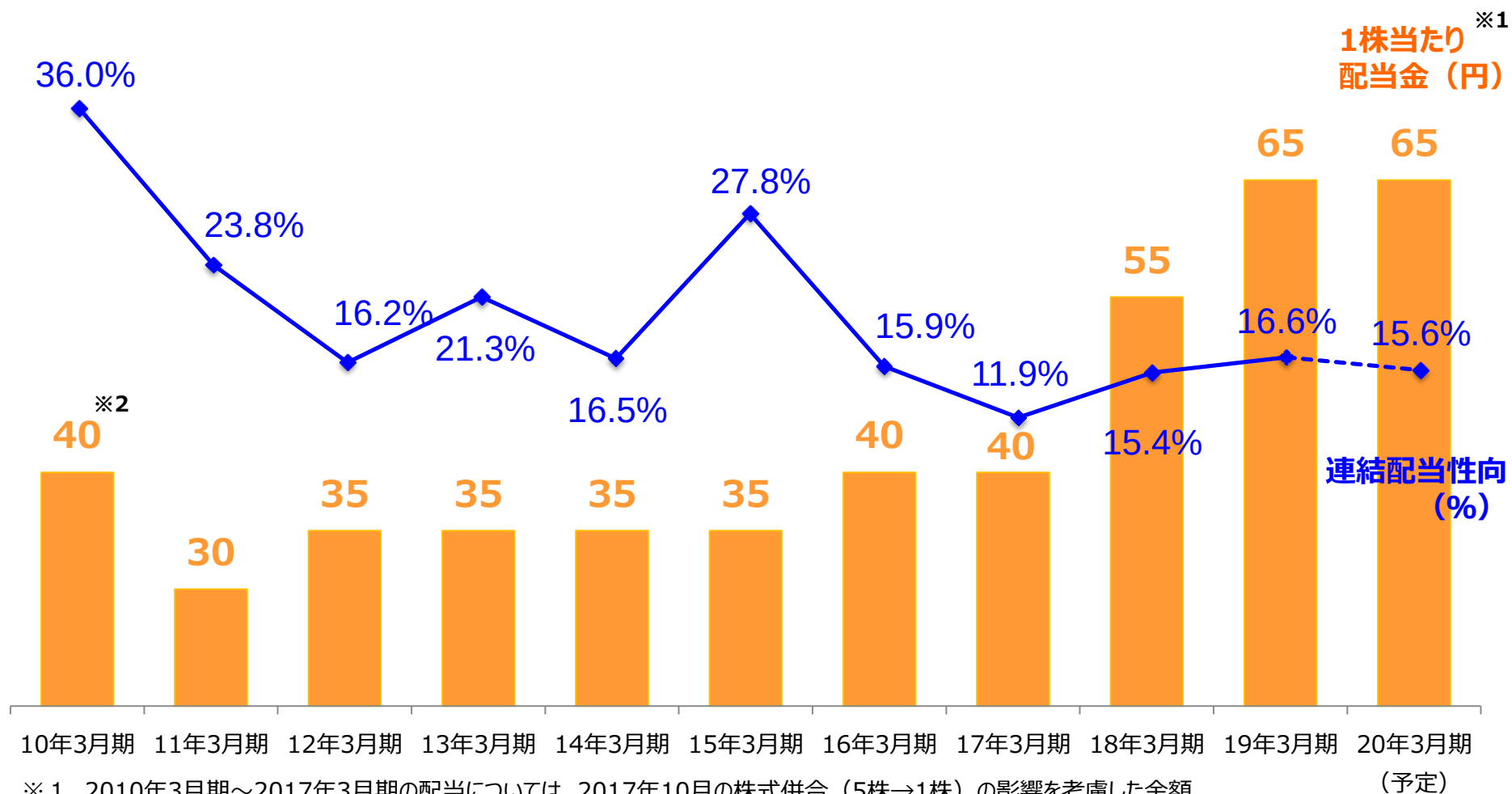
想定レート 為替 110円/\$ LPガス輸入価格 490\$/トン

※2020年3月期よりセグメント区分を一変更しており、それに伴い2019年3月期実績も組み替えております。

株主還元について（連結）

配当方針

- ・継続的かつ安定的な配当の実施が基本方針
- ・業績や経営環境を勘案しつつ適正な利益還元を実施



PLAN 20の進捗について

PLAN20の進捗について

1年前倒しでの経常利益330億円達成を目指す

【経営指標】

項目	2017年度 実績	2018年度 実績	PLAN20 目標値
経常利益	294億円	299億円	330億円
ROE (自己資本利益率)	12.2%	12.0%	10.0%以上
ネットD／Eレシオ	0.73倍	0.64倍	0.7倍

PLAN20の進捗について

各重要事業指標は順調に推移

【重要事業指標】

	2017年度 実績	2018年度 実績	PLAN20 目標値
L P ガス直売顧客数	90万戸	99万戸	100万戸
国内外 カセットこんろ・ボンベ販売数量	こんろ 3,333千台 ボンベ 103百万本	こんろ 3,869千台 ボンベ 121百万本	こんろ 4,400千台 ボンベ 137百万本
エアセパレートガス販売数量	15億m3	16億m3	17億m3
液化水素販売数量	59百万m3	70百万m3	90百万m3

事業トピックについて

セントラル石油瓦斯の完全子会社化について

販売・物流機能の事業効率化

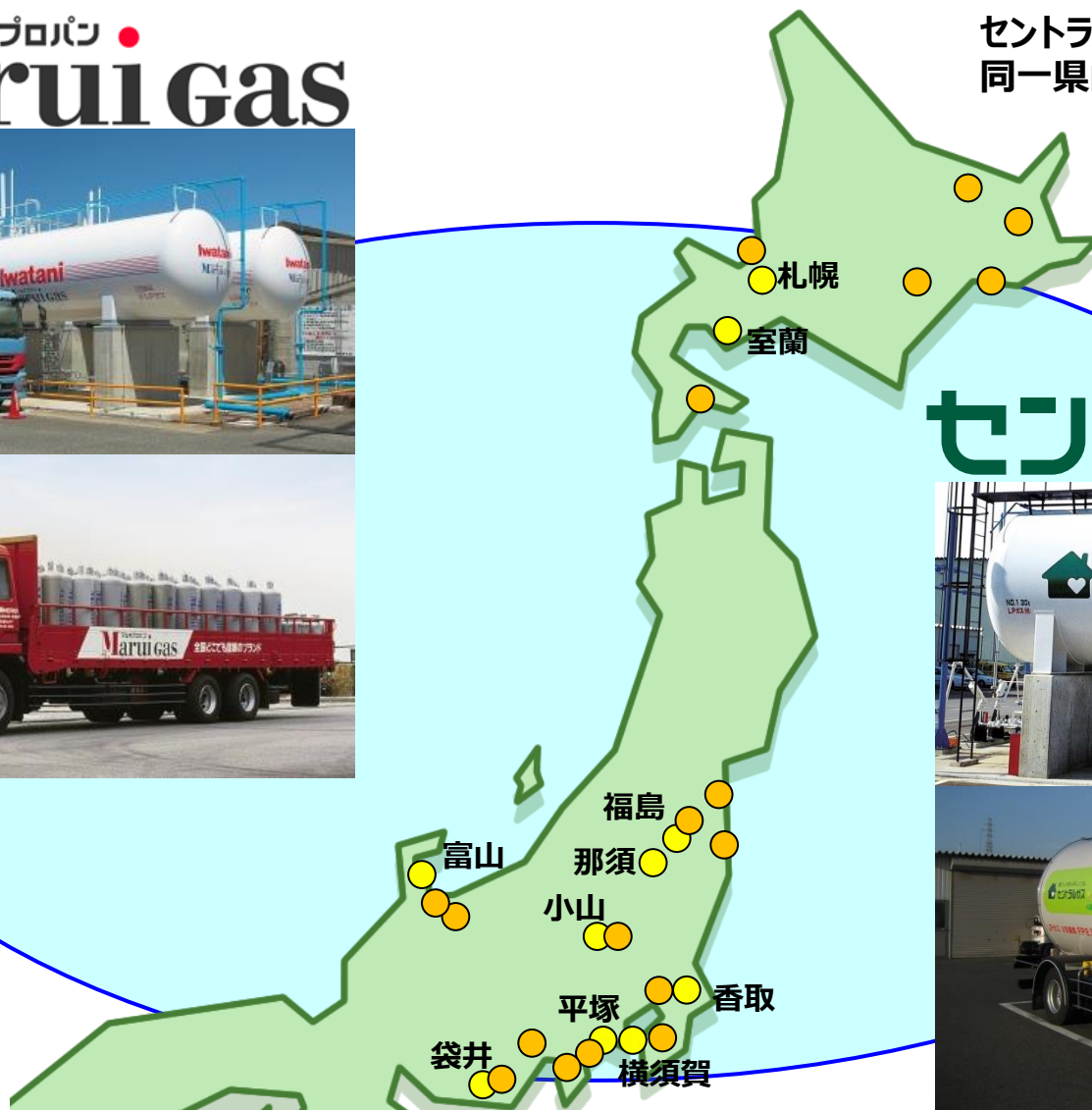
マルサプロパン ●
Marui Gas



セントラル石油瓦斯のセンターと
同一県内の当社センター

- 当社
- セントラル石油瓦斯

セントラルガス



LPガス安定供給に向けた取り組みについて

災害に強い供給拠点の整備と災害救援隊



台風による停電時でも非常用発電機を使用し、供給を継続した沖縄LPGターミナル



全国50か所に
基幹センターを整備

基幹センターの整備内容

- ・LPガスタンク等の耐震性の増強
- ・オートガス充てん設備の設置
- ・非常用発電機の設置
- ・自動充てんシステムへの更新
- ・事務所棟の耐震補強



Marui Gas災害救援隊全国一斉訓練



登録隊員人数 / 全国3,600名

Marui Gas 災害救援隊

電力会社と提携し、都市ガス事業を拡大

Iwatani

保安業務

ガス関連機器

B to C 商材



都市ガス顧客

当社保安顧客

関西エリア 80万戸

中部エリア 14万戸

米国カリフォルニア州で水素ステーションの運営開始



West Sacramentoの水素ステーション

水素エネルギー社会に向けた取り組み（国内）

水素ステーションの普及に向けた取り組み推進

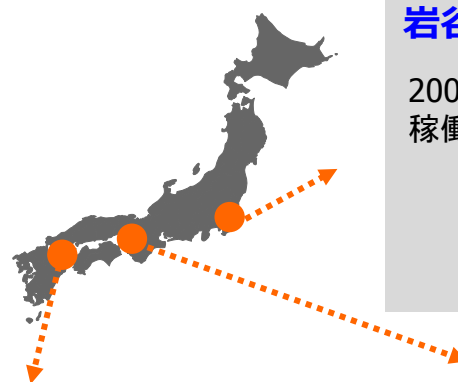
液化水素の生産体制強化



イワタニ水素ステーション新潟中央



イワタニ水素ステーション和歌山大田



岩谷瓦斯 千葉工場 1Line

2009年
稼働開始

(千葉県市原市)



山口リキッド
ハイドロジェン 2Line

2013年 1Line 稼働開始
2017年 1Line 増設

(山口県周南市)



ハイドロエッジ 2Line

2006年 2Line 稼働開始

2019年度

2系統⇒3系統増設予定

(大阪府堺市)



神戸の液化水素ターミナルが完成し、 液化水素運搬船による輸送開始予定（来年度中）



液化水素荷揚げターミナルの完成予想図



液化水素運搬船 提供: 川崎重工株式会社

豪州褐炭プロジェクト



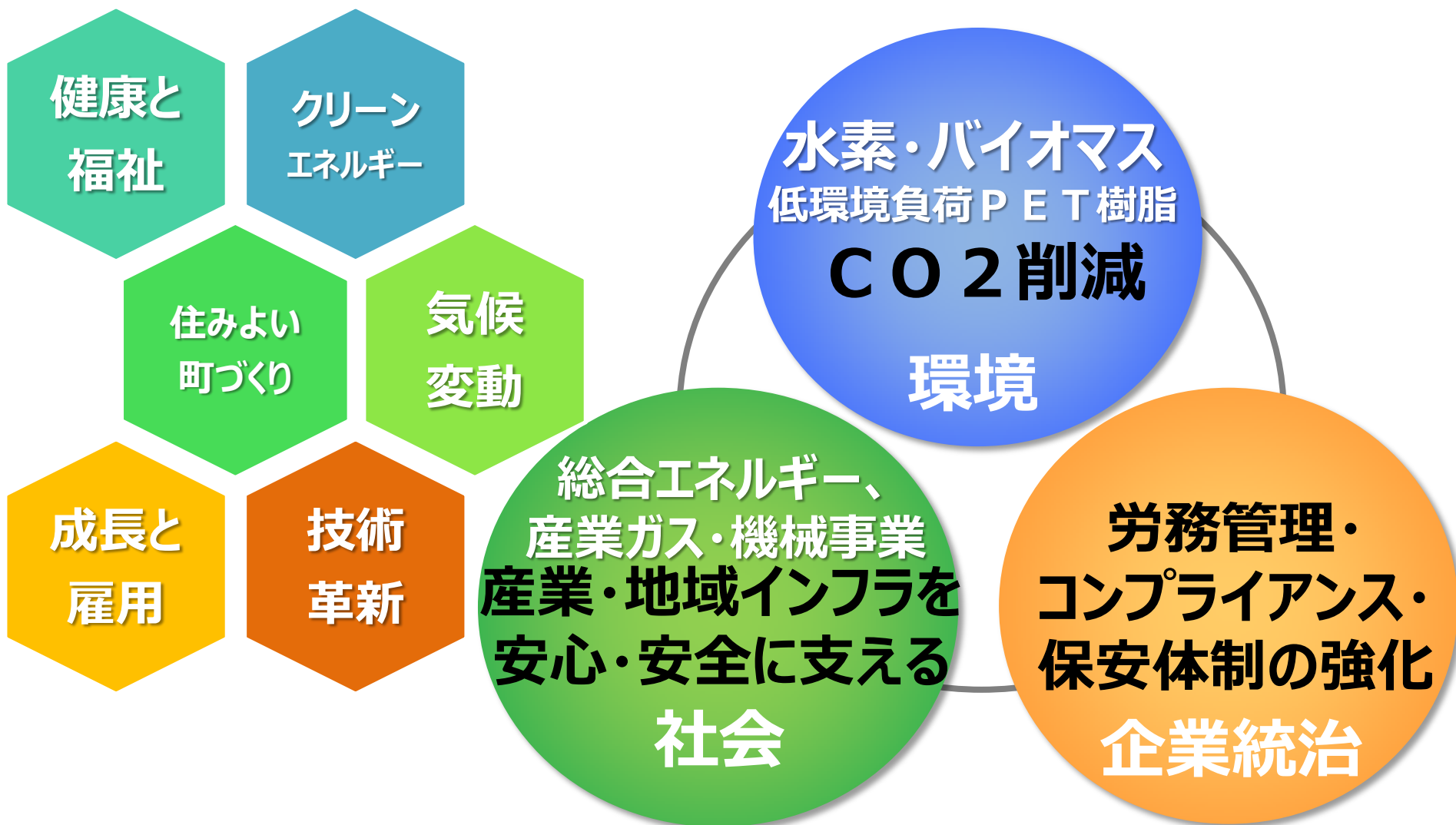
福島新エネ社会構想への参画

FHER FUKUSHIMA
HYDROGEN
ENERGY
RESEARCH
FIELD



水素製造装置の完成予想図 提供：東芝エネルギーシステムズ（株）

SDGs（持続可能な開発目標に貢献する企業運営）



Iwatani

お問合せ先

岩谷産業株式会社 経営企画部 IR担当

TEL:06-7637-3470

FAX:06-7637-3333

Webサイト:<http://www.iwatani.co.jp>

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。